

輪島市

社協だより

No.22

発行日/平成29年2月1日

みんなが自分らしく暮らせるまち



11月号 ゆうちゃん(1歳7か月)



12月号 あすなろちゃん(6か月)



1月号 ななちゃん(8か月)



小学校2年生の作品



小学校6年生の作品

輪島市社協の
マスコットキャラクター
ふくしあいちゃん



ちいきのふくしあいちゃんです



毎月、新聞折り込みチラシの社協だよりでご紹介させていただいたふくしあいちゃん達です。 ※撮影時の年齢を()内に記載しております。



ご挨拶

社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会 会長 上畠 忠雄

皆様方には、希望に満ちた新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
また、日頃より輪島市社会福祉協議会の事業に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本法人の地域福祉活動の行動計画である「輪島市地域福祉活動計画」は平成24年の策定から5年が経過しました。これまでの計画をふまえ、次の5年間の指針となる「第2次輪島市地域福祉活動計画」の策定も進んでおり、関係者の皆様の多大なるご協力をいただいておりますことに対し、大変感謝しております。今後5年間の計画においては、これまで以上に変化する社会情勢に対応するために住民主体の地域づくりが求められると考えております。地域住民がお互いに支え合う仕組み作りを進め、「だれもが安心して暮らせるまち」を目指し役職員一丸となって努力してまいりますので、さらなるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

平成28年度 社協会費納入にご協力ありがとうございました

あなたの「会費」が地域福祉をささえます

平成28年度社協会費について、市民の皆様・町内会関係者の皆様に多大なご理解とご協力を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

皆様より納入いただきました社協会費は、地域福祉推進のために広く有効に活用させていただきます。なお、賛助会費・特別会費につきましては、引き続きご協力をお願いいたします。

今後とも本会へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

一般会員会費 1,900,200円
◎一般会員とは…輪島市内の世帯
一世帯あたり年額200円

各世帯納入額

地区名	世帯数	実績額(円)
輪島	3,475	695,000
大屋	938	187,600
河原田	417	83,400
鶴巣	480	96,000
町野	904	180,800
南志見	324	64,800
三井	474	94,800
西保	221	44,200
門前	2,263	453,600
合計	9,496	1,900,200

特別会員会費 35,000円

◎特別会員(法人会員)とは
本法人の趣旨に賛同して下さる
団体・機関・会社・事務所等
一口あたり年額5,000円

平成28年度 特別会員

東洋警備保障(株)輪島営業所 様・
大向カーオート 様・トランスポート
サービス(株)様・鶴巣園芸センター様・
(株)石の井筒屋 様・いろは家具 様
順不同

賛助会員会費 182,700円

◎賛助会員(個人会員)とは
本法人の趣旨に賛同して下さる
個人
一口あたり年額1,000円以上

平成28年度 賛助会員

民生委員 様
当社協理事・評議員・監事

平成28年度の会費(平成29年1月10日現在)
総額 2,117,900円の使い道

地域福祉活動推進に…

- 高齢者を対象とした配食サービス
- 心配ごと相談所事業の実施
(市民を対象にした無料弁護士相談や相談員による日常生活のあらゆる悩み事相談)
- 社協だよりの発行
- 車いすの貸し出し

市内8地区社会福祉協議会へ還元

社協運営事業に…

- 理事会・評議員会(年3回)
- 事務諸経費
(活動に必要な通信運搬費、燃料費、消耗品や印刷費)

～ご賛同いただける個人・法人・事業所随時募集しております～

事業計画・財務内容の閲覧

輪島市社会福祉協議会の事業内容・財務内容について、お申し出によりどなたでも閲覧することができます。また、ホームページでも公開しています。

暮らしサポートセンターわびま

生活で不安や困りごとはありませんか？

相談
無料

一人ひとりによりそい、どうしたらいいかを一緒に考え、
安心して毎日をすごせるよう、各関係機関と連携しながら、

秘密
厳守

お手伝いします！



～ひとりで悩まず、まずは相談してみませんか～

仕事探し、就職について

- ❖長い間仕事から離れていたけど、働きたい
- ❖自分にあった仕事が見つからない など

収入・生活費のことについて

- ❖家賃は払えない、電気がとめられる
- ❖生活費に困っている
- ❖収入が不安定 など

家族のことについて

- ❖社会にでて、働いて欲しい
- ❖子どもの将来が心配
- ❖配偶者から暴力を受けている など

病気や健康、障害のこと

- ❖精神疾患や病気になって働けなくなった など

Q.相談したらどうなるの!?



- ◎まず、困っている事や状況のお話をお聴きします。
- ◎どうしたらいいかを一緒に考えます。
- ◎困りごとの解決に向けた計画を一緒に作り、取り組んでいきます。

などを相談に応じて行っていきます！

利用者の声

(前の仕事からブランクがあり不安…でも、お仕事をしたいと思っていた方)

人との出会いの大切さがわかった！
話して帰るとすごくすっきりする。今まで自分の中で止めておいた事が話せるようになったし、厳しい言葉もあったけど、意見ももらえて「こうするといいなあ」と思える自分になれた。今、そこから行動にうつせるようになってきた！

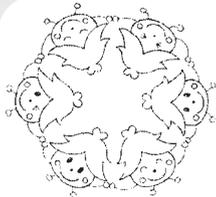
お気軽に
ご相談ください。



おなやみ
☎0768-23-0783

●相談日時● 月曜～金曜(祝日・年末年始は除く)
午前9時～午後5時まで

輪島市社会福祉協議会(輪島市ふれあい健康センター1階)



輪島市児童センター・輪島市もんぜん児童館

放課後児童クラブ ～未来を支える人を育てる～



☆思いやりのある子どもを育てる

困っている人を助け、困っている時には助けてもらえる関係を学びます

- ・ふくしあいちゃんと思いやりについて学ぶ福祉出前講座(保育所・幼稚園訪問)
- ・小学校へ福祉出前講座(高齢者疑似体験)(ガイドヘルパー・車いす体験・点字講座、体験)
- ・思いやりの4コマまんがが社協だよりに掲載



福祉出前講座

☆ボランティアを育てる

地域の方と交流し、自分ができるボランティアに気づき活動します

- ・ゴミゼロに参加しました
- ・三井のバス停の清掃活動
- ・施設訪問でお年寄りに元気を届けます
- ・公民館や地域の方とプランターに、季節の花植え



バス停清掃



ゴミゼロ



季節の花植え

☆安全安心なまちづくり

交通安全・防犯・防災を身近に感じ、自分の事として考え備えます

- ・おまわりさんの防犯教室
- ・防災のことを知ろう(防災食を作りました)
- ・親子で防災教室
- ・避難訓練
- ・防災マップづくり



防犯教室



防災食作り

☆集える場づくり

地域で世代間交流をして、顔の見える輪のような関係を作ります

- ・地域の方と料理教室
- ・ふれあいプラザ二勢で交流会
- ・こどものレストラン「わ・もっそ」
- ・ゆめかぼちゃの皆さんと「ゆめサロン」
- ・ミニ夏まつり(輪島市もんぜん児童館)
- ・鶴巣保育所の皆さんとおまつりごっこ



ゆめサロン



おまつりごっこ

☆ふるさとを愛する心を育てる

子ども時代にふるさとの生活体験を重ねることで、わじまを大切にします

- ・地域の方に教わり梅干し作り
- ・わじま大すきじどうクラブまつり
- ・みんなで野遊び(輪島市児童センター)
- ・おしごと体験でわじま発見!(輪島市児童センター)



わじま大すき
じどうクラブまつり



おしごと体験



「安全・安心のまちづくり」

～大規模災害に備えて～ 防災の取り組み

輪島市防災訓練(輪島市災害ボランティアセンターの運営訓練とアウトリーチ訓練)

平成28年10月30日(日)輪島市文化会館3階小ホールで、災害ボランティアセンターの訓練が、輪島市役所 市民課・輪島市社会福祉協議会・輪島市災害ボランティアセンター運営連絡会委員・防災士・民生委員・災害ボランティアコーディネーター・食生活改善推進委員・中学生・一般ボランティアの計78名で行われました。

アウトリーチ訓練(現地聞き取り調査)

災害時必要な支援を検討する際、要望を発信できる方ばかりではないのが現実であり、声にならない声を集める事が大切との思いから、現地聞き取り調査訓練を実施しました。三人一組で被害想定地域に設定されたお宅に訪問し、お話を聞く訓練です。



災害ボランティアセンター運営訓練

各ボランティア団体・防災士や一般ボランティアの方々にも参加いただき災害時にも支援を頂ける方々と訓練を実施しました。



参加者の感想

- 緊急時に備えての必要性を強く感じた。災害ボランティアセンターの役割、仕組みがわかる良い機会でした。
- 被災者の方、ボランティアの方とのコミュニケーションの注意点とか、方法の知識が必要なのではと思った。
- 民生委員、地域推進委員の方に、災害ボランティアセンターの活動を理解してもらっておくと、災害時被災者の方のニーズがスムーズにあげられると思った。

輪島市災害ボランティアセンター 支援活動協力者募集

輪島市内で災害がおこった場合に、ボランティア活動ができる個人・団体又は輪島市災害ボランティアセンター内の活動に協力して頂ける個人・団体を事前に登録する制度です。

条件

個人→15歳以上の方(18歳未満は保護者の承諾が必要)

団体→市内に所在する団体・企業など
※輪島市民でなくてもOKです。

手順

登録申込書記入→輪島市社会福祉協議会へ提出→登録完了

登録後はメールを配信し、平時は防災に関する情報、災害時は災害ボランティアセンターに関することをお知らせします。

※4月より申込みを開始します。

申込みは、輪島市社会福祉協議会事務局まで。(ふれあい健康センター1階)

災害ボランティアセンターとは

災害時、災害ボランティア活動を効率よく推進するための組織です。

輪島市では平成25年3月に輪島市災害ボランティアセンター運営マニュアルが策定されました。それに基づき、輪島市社会福祉協議会は災害ボランティアセンター準備室を設け、準備室員は運営連絡会委員と共に、災害ボランティアセンターに関わる準備・研修を行っています。



平成19年3月の能登半島地震の際の災害ボランティアセンターの様子

輪島市地域福祉活動計画



進捗状況 ①

防災マップの見直し

3年前に作った防災マップの検証をしています。
子どもたちが自分たちの家を地図で探し、近くの避難場所や消火栓、子ども110番の家にも印を付けました。
地域を歩くと普段から気をつけなければならないところも見つかりました。
地図で地域の方と危険箇所をチェックしました。



進捗状況 ②

施設との連携

多機能型ライフサポート「一互一笑」さんに月に1回児童クラブのおやつを作っていただいています。
季節にあった可愛いラッピングとおいしいおやつは、子どもたちに大人気です!



進捗状況 ③

昔遊びを伝える

昔の遊びを伝えていく為に、児童館で凧あげを行いました。
ビニール製の凧に、思い思いの絵を描き、寒さに負けることなく凧をあげました。
これからもたくさんの昔遊びを伝えていきます。



進捗状況 ④

生活介護支援サポーター養成講座

地域を支えるサポーターを育てる研修を行っています。
サロンの勉強や、高齢者・障害者の勉強をしたり、参加者20名で楽しく研修しています。
講座終了後には「わじまサポートクラブ28」として地域でボランティアやちょっとしたお手伝いを行う予定です。



目指すのは…

みんなが自分らしく暮らせるまち

～輪のように ずっとつながる まちづくり～

福祉出前講座メニュー

体験学習の福祉出前講座メニューです。出会いやコミュニケーションを通じて、自らの課題を見つけ、学び、考え、判断できる力、様々な違いを持つ人同士が同じ地域社会で「共に生きる」(共生力)を育て、地域の福祉力を高めていくことにつなげていきます。

車いす体験

車いすに乗っている人がどのような不便さや不安を感じられているかを具体的に体験し、車いすを利用している人に対する適切なサポートを学びます。



福祉講話

☆福祉について

福祉学習の導入として全体的な講話

☆障害について

障害のある方や支援団体からの講話

☆ユニバーサルデザインについて

すべての人が安心して便利に暮らすために必要なものづくりなど行う考え方を学ぶ講話



アイマスク体験

2人1組で、ガイドする側とガイドされる側(アイマスク着用)を交互に体験し、視覚に障害がある方への適切なサポートを学びます。



点字体験

点字の仕組みや歴史を学び、携帯点字器を使って実際に書く体験をします。



高齢者疑似体験

体験装具(ゴーグル・サポーター・重り)を装着して高齢者の日常生活の動作を疑似体験することにより、加齢による身体の変化を知り、高齢者の気持ちやサポート方法を、体験的に学びます。



思いやりの福祉劇

保育園や幼稚園、児童センターでふくしあいちゃんと一緒に福祉劇を行います。困っている人を助けること、困っていたら助けてもらうことなどを学び、思いやりのある心を育てます。



心を届ける

介護福祉サービスのご案内

《利用者の幸福につながる支援》

有償運送
サービス

有償運送 サービスとは？

車イスの方や身体的な理由により交通機関の利用が困難な方を、社会福祉協議会のリフト車が自宅から医療機関への送迎を安心・安全に行います。(市役所に申請が必要です)

※距離に応じた利用料がかかります。

- ・5kmまで 800円
- ・10kmまで 1,000円
- ・15kmまで 1,200円
- ・20kmまで 1,400円
- ・25kmまで 1,600円
- ・30kmまで 1,800円



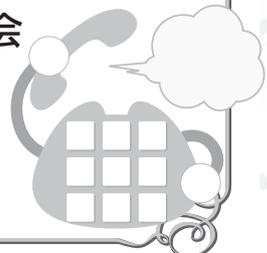
おたっしや
コール

おたっしや コールとは？

75歳以上の1人暮らしの方、老夫婦、普段しゃべる事が少ない方にボランティアがお宅に電話をかけて、お話の相手などをさせてもらっています。輪島市から委託を受けて輪島市社会福祉協議会が実施しています。

※随時利用者募集中です。

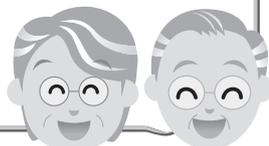
☎輪島市社会福祉協議会
介護福祉課
☎22-9838



居宅介護支援事業所
介護安心支援センター

居宅介護 支援事業所とは？

ケアマネジャーがいる事務所です!!
要支援・要介護認定者が自宅で自立した日常生活を送る事が出来るように、ケアマネジャーがケアプランを作成します。そのプランに基づいて適切な介護サービス(デイサービス、ヘルパー、福祉用具など)が提供されるように連絡調整を継続的に行います。



ヘルパーステーション
ほほえみ

ヘルパー とは？

ヘルパーは、在宅の高齢者や障害者宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の介護をします。

また、調理・洗濯・掃除・買い物等の生活支援をします。

利用者やご家族の相談にのったり、精神的ケアもおこなっています。



おたっしやコール・介護安心センター・ヘルパーステーションほほえみ、介護に関する相談や不安などありましたら、いつでもご連絡ください。

☎ 22-9838

※当社協のケアマネ及びヘルパーは業務上知り得たご利用者様及びご家族様の個人情報をご正当な理由なく第三者に漏らしません。また、社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に保護、管理します。

輪島市老人クラブ連合会



会長
池端 晃

新年あけましておめでとうございます。
日頃より老人クラブの活動にご理解、ご支援賜り厚くお礼申し上げます。
自愛、友愛、奉仕の理念のもと関係団体と連携し安全、安心の地域づくりを目指して活動していきたいと思ひます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

◎石川県老人クラブ連合会会長表彰 育成功労者

中三井第一老人会 会長 中谷良雄 様
滝又校下老人会 会長 宮下守次 様
四和老人会 会長 堂田誠松 様

輪島市民生委員児童委員協議会



会長
谷内 峻

日頃より輪島市民生委員児童委員協議会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年12月1日の一斉改選において、引き続き輪島市民生委員児童委員協議会の会長として再任をいただきました。会長の職務を果たし、頑張っていく所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

民生委員児童委員は自らも地域住民の一員として住民の立場に立ち、生活上の課題を抱え支援が必要な人の身近な相談相手となります。福祉サービス等の情報の提供や行政等の関係機関による支援へのつなぎ役となれるよう努めてまいりたいと思ひます。

今後とも皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

◎永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰

谷内峻 様

◎永年勤続民生委員児童委員表彰

大窪恵子 様、 中嶋恵美子 様、 平誠子 様、 岡本マチ子 様

輪島市ボランティア連絡協議会



会長
丹圃 俊記

輪島市住民の皆様には、平素より本会の運営並びに諸事業の遂行に深いご理解と心強いご支援をたまわり、深く感謝とお礼を申し上げます。

発足して10年目を迎える本会といたしましては、今後も地域密着型の活動を基軸として、より連帯と連携のとれた一体性をめざし、「思いやり」を大切にして福祉活動の推進に努めてまいりたいと考えています。

本年も、私たち会員組織70グループ1,458名が精一杯努力して参りますので、なにとぞ、住民皆様方の温かいご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

輪島市ボランティアセンター

ボランティア募集

ボランティアセンターでは、「ボランティアを頼みたい。こんなボランティアがしたい」というボランティア依頼や、活動依頼等のボランティアに関する相談や、ボランティア保険に関する相談・加入申し込みの受け付けております。お気軽にご相談ください。

活動報告

毎年恒例のボランティアフェスティバル輪島が11月にもんぜん会館で開催されました。舞台発表や販売、お昼ご飯のふるまい等が行われ楽しくボランティア同士の交流ができました。



ボランティア保険加入更新をお忘れなく!

安心してボランティア活動を行えるよう、ボランティア活動保険に加入しましょう。
ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

- * 加入できる方 ボランティア個人、ボランティアグループ、NPO法人または、その所属の無償のボランティア
- * 補償の対象 日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動
- * 補償期間 4月1日から翌年の3月31日まで
※途中加入の場合は、加入手続きの受付をした翌日から、その年度の3月31日までとなります。
- * 掛け金(保険料) ●基本タイプ…350円 ●天災タイプ…500円
(平成29年度の場合) ※石川県民ボランティアセンターから、掛け金200円の助成がありますので、個人負担は、基本タイプが150円・天災タイプが300円となります。その他のプランもあります。
- * お申込み・お問合せ 輪島市社会福祉協議会 ☎22-2219

ボランティア保険 改定のお知らせ(平成29年4月1日改定)

平成29年度より「ボランティア活動保険」及び「ボランティア行事用保険」は改定いたします。

ボランティア活動保険

Aプラン・Bプランの基本タイプ・天災タイプ共に掛け金(保険料)とAプランの死亡保険金・後遺障害保険金(限度額)が改定されます。

加入プラン	平成28年度		平成29年度	
	Aプラン	Bプラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,200万円	1,800万円	1,320万円	1,800万円
後遺障害 保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
基本タイプ	300円	450円	350円	510円
天災タイプ	400円	650円	500円	710円

ボランティア行事用保険に「Cプラン」誕生

居場所づくり、サロン、子ども食堂などの少人数の日帰り行事(名簿不要)に対応する補償として新たにCプランが誕生します。

- ①名簿の備付が不要なので事前に参加者を特定する必要がありません。
- ②けがの補償は行事参加中のみで、往復途上の補償はありません。
- ③20人未満でも最低保険料(560円)をお支払いいただくことをご加入いただけます。

「Aプラン」の最低加入人数20名の規定を廃止

ボランティア行事用保険・Aプランは、従来は「最低加入人数20名」の加入要件がありました。したがって、20名未満の場合でも、最低保険料(20名分)をお支払いいただくこと、ご契約いただけます。

介護予防拠点施設 **ふれあいプラザ二勢**

日常生活動作を中心に、生活を営む上で不可欠な基本動作と生きがいづくりを目的に教室を行っています。主な教室は「ほほえみ教室」とマシンを使ったリハビリを行う「筋トレ教室」です。他にも地域の方が気軽に話しができるようにサロンや趣味のスペースを設けました。相談や気分転換にぜひご利用ください。



生活相談室(個別対応)



図書貸し出しスペース



卓球スペース

体操サロン参加者募集

- 【対象者】** おおむね65歳以上で自分でふれあいプラザ二勢まで来られる方
- 【時間】** 毎週水曜日 午後3時～午後5時(体操時間は20分～30分程度です)
- 【内容】** 貯筋運動のDVDを観て一緒に身体を動かします。その後不定期にてスカットボールやペタンクなどを行います。カフェコーナーもあります。
- 【費用】** 一回100円
※その他のスペースは無料です。詳しくはふれあいプラザ二勢までお電話ください。
ふれあいプラザ二勢 輪島市二勢町44番地 ☎0768-23-0080



体操サロンの様子

福祉サービス利用支援事業

判断能力に不安を抱える方々に対し、福祉サービスを利用するための手続きや日常生活のお金の管理などをお手伝いしています。



福祉サービスを利用したいがよくわからない

家賃や電気・ガスの利用料の支払いを忘れてしまう。



サービス内容

- 福祉サービスの利用手続き、利用料の支払い等をお手伝いします。
- 福祉サービスについての苦情解決制度の利用手続きをお手伝いします。
- 毎月の生活費の管理・公共料金の支払いなどをお手伝いします。利用料は1時間1,350円です。

① 相談 →



まずはお電話でご相談ください。

② 訪問調査 →



輪島市社会福祉協議会の職員(専門員)が訪問し、詳しく事情をお伺いします。

③ 支援計画作成 →



「支援計画」で、実際に行う支援の内容を決めます。

④ 契約 →



支援計画や契約内容が決まれば、ご本人と社会福祉協議会が契約を結びます。

⑤ サービス開始



契約後は生活支援員がサービスの提供をいたします。

ありがとう♡みんなのきもち

あたたかいお心をありがとうございます

(平成28年9月1日から平成29年1月13日まで)

◆一般寄付金◆

劔地地区職員互助会 様…70,000円	輪島市ゴルフ協会 様……27,304円
輪島市グラウンドゴルフ協会 様	山口俊治 様……………3,415円
……………8,600円	匿名の方……………50,000円
匿名の方……………10,000円	匿名の方……………30,000円
匿名の方……………40,000円	

◆物品寄付◆

小梅の会 様(米、食料品、菓子)

◆収集ボランティア◆

古切手、プルタブ寄付

日東電気 様	山下住宅 様	徳野印刷 様
輪島タクシー 様	興能信用金庫 様	
亀田操 様	鵜島順子 様	田中義明 様
中江祥子 様	杉窪厚子 様	匿名の方



能登半島地震から10年 3.25能登半島地震を伝えよう

『10年前のあした、地震がきた』

3月25日で能登半島地震から10年が経ちます。一日前からみんなで集まり、体験し、考えて、話し合い、伝えましょう。ふれあい健康センターを避難所のモデルとして、自分の地域課題を考え、防災について語り合います。

日時 3月24日(金)15:00～宿泊(帰宅可能)
25日(土)9:00～13:00
場所 ふれあい健康センター 3階
申込 3月22日(水)1日の参加も可能 ※宿泊は先着20名
お問い合わせ 輪島市社会福祉協議会
※詳しくは3月発行新聞折り込みチラシ越後屋版社協だよりに掲載予定です。

参加無料



◆編集・発行◆社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

- 本 所 …………… 〒928-0001 輪島市河井町2部287番地1(輪島市ふれあい健康センター内)
☎(0768)22-2219 ㊟(0768)22-9627
- 《介護支援室》…………… 〒928-0001 輪島市河井町20部1番1地(輪島市文化会館2階)
☎(0768)22-9838 ㊟(0768)22-4773
- 《ふれあいプラザ二勢》… 〒928-0031輪島市二勢町44番地
☎(0768)23-0080 ㊟(0768)23-0081
- 門前支所 …………… 〒927-2153 輪島市門前町深田21の17番地1(輪島市門前保健センター内)
☎(0768)42-0772 ㊟(0768)42-0901
- 《ホームページ・フェイスブック》「輪島市社会福祉協議会」で検索 《E-mail》washakyo@aqua.ocn.ne.jp